

金をつくろうと提案したことに始まり、1928年に財団と名づけられ、1931年に信託組織となり、1983年にイリノイ州の法令の下に非営利法人となりました。

活動としては、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することです。

よりよい暮らしに値する多くの人たちの夢を実現させています。

ロータリー財団への寄付について

ロータリー財団には二つのニーズと、二つの寄付の方法があります。その一つは、年次寄付です。毎年、クラブと地区は、年次寄付の目標額を設定し、ロータリアンは毎年、これらの目標額を達成するために努力しています。このような財団の継続的支援のことを年次寄付といいます。

年次寄付は、3年後のプログラムの費用として保管しておきます。3年サイクルによって、地区はプログラムを計画し、3年後にプログラムに使うことができます。

2006~07年度より、年次寄付の50%は地区財団活動資金(DDF)として、地区が、奨学金や地区補助金(DSG)など使い道を決めることができます。残りの50%は国際財団活動資金(WF)と呼ばれ、ロータリー財団がマッチング・グラント、個人向け補助金、GSEなどに効果的に使っていきます。

二つ目は、恒久基金です。寄付金の元本は永久に蓄積され、運用収益だけが財団プログラムを遂行するために使用されます。

財団の寄付は、使途が指定されない年次寄付と、恒久基金の二つが主なものですが、これ以外に使途を指定した寄付もあります。指定された使途以外には使用できない寄付で、ポリオ・プラス、マッチング・グラント、冠名奨学金などがその例です。2006年3月31日現在、ロータリー財団恒久基金の累計額は、US\$ 1億8,800万ドルです。予測額(収益や誓約)は2006年4月30日現在、3億30万ドルで、総額4億8,830万ドルで

す。目標は、2025年までに10億ドルです。

これらの支援によるロータリー財団の三つのプログラムが、教育的プログラム、人道的補助金、ポリオ・プラスです。

教育的プログラムとして、国際親善奨学金はロータリー財団発足以来、民間レベルとしては世界最大規模の奨学金制度です。目的は学生が他国の教育機関で勉強することによって、相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与することであり、毎年、約800~1300名くらいの財団奨学生が、親善使節として行動しています。

人道的補助金としては、保健、飢餓追放および人間性尊重補助金、マッチング・グラント、地区補助金、ボランティア奉仕活動補助金といったような補助金を出し、平和を促進するための方法として、人々の健康状態を改善し、人間的社会的発展を図ることを目的としています。

ポリオ・プラス、ポリオ撲滅活動に対する国際ロータリーの寄付は約720億円になり、20億人以上の子どもたちがワクチンを投与され、ポリオは終息に向かいつつありますが、いまなお4カ国(ナイジェリア、インド、パキスタン、アフガニスタン)では、野生株のポリオ、ウイルス感染が絶たれていません。今後はポリオ発生地域のロータリアンを援助し、撲滅に必要な用具や補給品を提供し、ポリオ・プラス・パートナープログラムを支援していく必要があります。

ロータリー財団によって各国に派遣された留学生、国際親善奨学生のOB,OGが集まり、帰国後は財団学友会に所属し、新奨学生のオリエンテーション、選考、財

